

繪本浅紫

下上

□ 9
4452

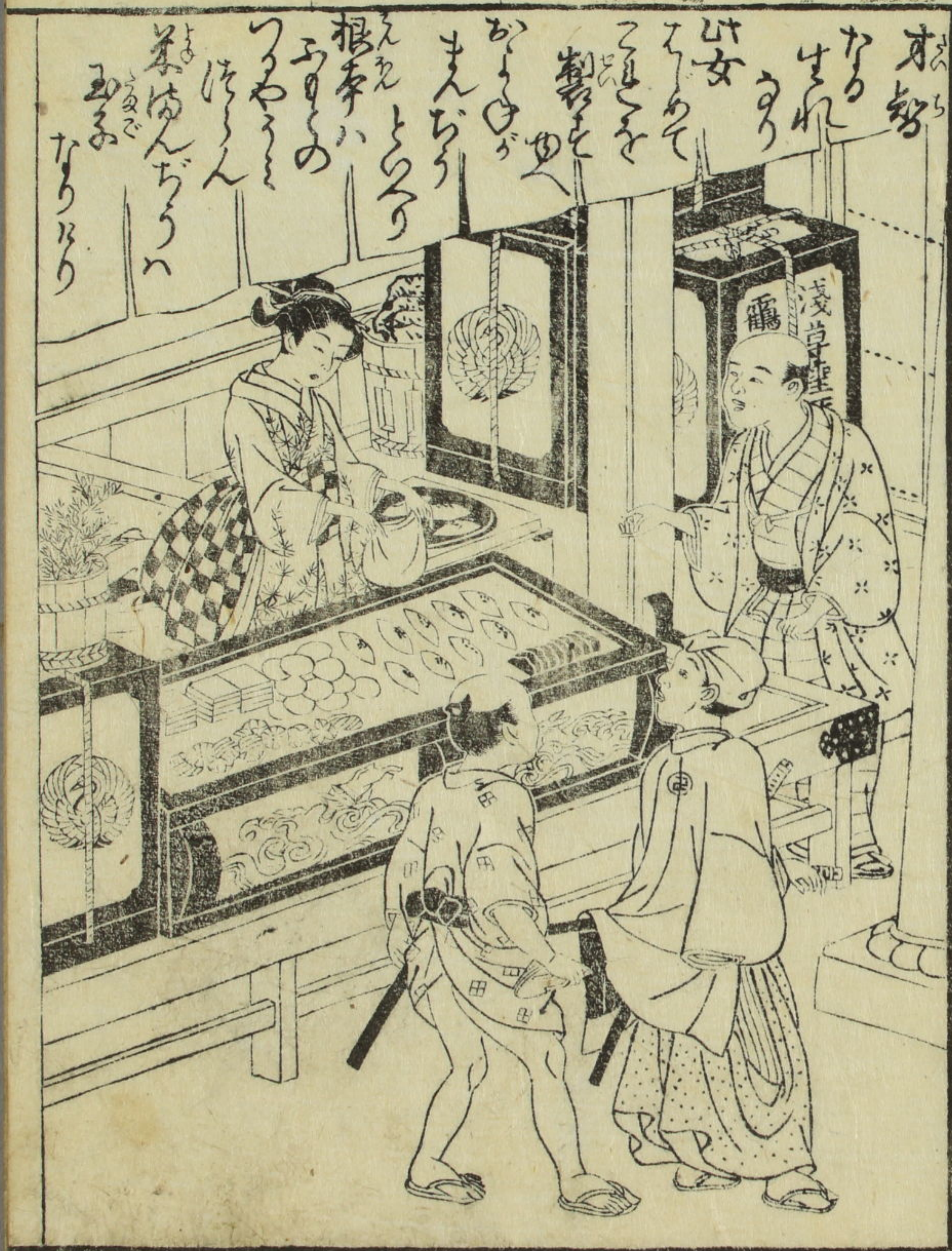


繪本浅紫序

花の上野月と隅田川に流るる彩ひうご
りて程お編よりのまじりてを宛問の奉を家
詞を流きて紅翠軒乃若の筆ふゆりて
さまた又二冊子の懸めたるふれと奉の
切なるまじりて自浅紫を題勢をてす
書付の媒介しるあはれぬ胡蝶とてを
世へ傳ふるをあらう

浪花散人 玄々齋述

<2018-767





浦上ノ五



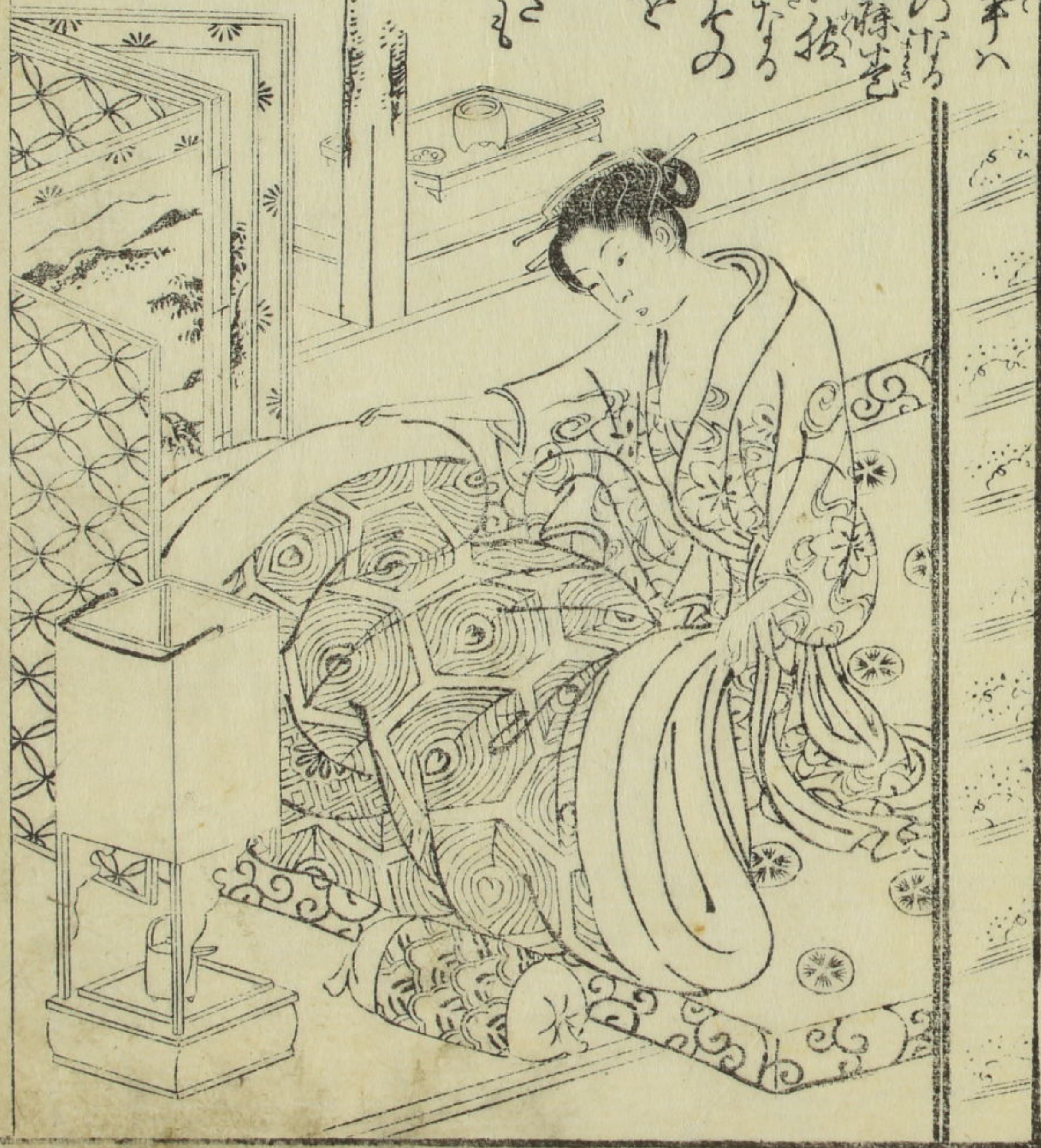
してあるは
 の
 友よ
 持の
 飛曲あり
 名を
 江戸
 田舎
 子
 徳



田舎
 法
 曲の
 うの
 七人
 細の
 棒よ
 ちの
 け少

海上十一

ねんごうの事ハ
 ちごう乃のめい
 一昔ハ小孫也
 とて常の衣被
 のけし大なる
 と下はきと
 うに備せと
 のけし
 上げと
 おもひ
 めし
 由と備置
 のぬの種
 と園とハ
 ちごう
 とて



ねんごう
 わえく
 名
 人の
 且
 さ
 ち
 よ



海上士二



下ノ六

若き人
 ねがひて
 人と
 且て
 疾を
 さるの
 行幸
 かま
 くれ
 か
 神子
 圓
 神



常陸國
 鹿嶋乃
 御神
 大社
 此社
 流
 麻島
 神



下土

東都

紅翠軒

北尾重政函



彫刻

山口半四郎



書林

通本石町三丁目十軒店

山崎金兵衛板

下三丁

